

記入要領（受験申込・コード入力欄、面接カード）

1 受験申込・コード入力欄

コード入力欄の入力方法は下記のとおりです。説明をよく読み、間違いのないように入力してください。

(1) 試験職種

試験職種を選択し、次の職種番号コード表により、対応する職種番号が表示されているか確認してください。また、受験票の職種番号欄には、同じ職種番号を記入してください。

〔職種番号コード表〕

行	政	01	保 健 師（警 察）	23	総 合 土 木（農 業 土 木）	17
警 察	行 政	15	農 学	07	建 築	12
化	学	02	畜 産	08	建 築（警 察）	20
心	理	04	林 業	09	設 備（機 械）	13
福	祉	05	水 産	10	設 備（電 気）	14
保 健 師		06	総 合 土 木（土 木）	11	警 察 科 学（化 学）	18

(2) 第1次試験の試験地

第1次試験の試験地を選択し、次の試験地コード表により、対応する試験地コードが表示されているか確認してください。

〔試験地コード表〕

青森市	1	東京都	2
-----	---	-----	---

(3) 学歴区分

学歴区分を選択し、次の学歴区分コード表により、対応する最終学歴の学歴区分が表示されているか確認してください。ただし、最終学歴には令和9年3月卒業（修了）見込みを含みます。在学中又は中退の場合は一つ前の学歴を選択してください。また、修学年数が2年又は3年の専門学校の場合は短期大学卒とし、修学年数が1年の専門学校の場合は一つ前の学歴を選択してください。

〔学歴区分コード表〕

大 学 卒	1
短 期 大 学 卒	2
高 等 学 校 卒	3
中 学 校 卒	4
大 学 院 卒	5
高 等 専 門 学 校 卒	6

（例）受験者が大学を令和9年3月卒業見込みの場合

学歴 区分	1
----------	----------

(4) 修学区分

修学区分を選択し、次の修学区分コード表により、対応する修学区分コードが表示されているか確認してください。

〔修学区分コード表〕

卒業（修了）見込み	1
卒業（修了）	2

（例）受験者が最終学校を令和9年3月卒業（修了）見込みの場合

修学 区分	1
----------	----------

(5) 卒業年月

最終学校の卒業（修了）年月を入力してください。

(例) 受験者が最終学校を
令和9年3月卒業（修了）見込みの場合

卒業 年月	0	9	0	3
----------	---	---	---	---

受験者が最終学校を
平成31年3月卒業（修了）の場合

卒業 年月	3	1	0	3
----------	---	---	---	---

2 面接カード（第1次試験合格者のみ）

- ① 「青森県電子申請・届出システム」により所定の欄に入力してください。
- ② 数字は算用数字で入力してください。
- ③ 写真のデータ（6か月以内に正面から撮影した顔写真で、JPEG 又は JPG 形式の画像ファイル（縦横比は縦4：横3）とし、データサイズは2MB以内）を提出してください。

注1 面接カードは、面接試験の資料になります。

2 入力内容は、入力後に「青森県電子申請・届出システム」からPDFデータで出力が可能です。

3 入力期間内であれば「申込内容照会」から入力内容の修正が可能です。修正を行う場合は当人事務委員会事務局に必ずご連絡ください（連絡なく修正された場合、修正内容が反映されない可能性があります。）。

<入力項目及び文字数>

- ① 本県職員を志望する理由・受験動機（165字以内）
 - ② 県行政で携わりたい施策・部門（165字以内）
 - ③ 最近関心を持った事柄についてあなたの考えとその理由（220字以内）
 - ④ あなた自身の性格・人柄（具体的なエピソードを交えて入力してください。）（275字以内）
 - ⑤ 学生生活、社会的活動等で達成感が得られた経験（場面、行動等を具体的に入力してください。）（275字以内）
 - ⑥ 専攻学科を選んだ動機（50字以内）
 - ⑦ 卒論、ゼミ又は演習のテーマ（30字以内）
 - ⑧ 資格・免許（110字以内）
 - ⑨ 本県職員採用試験以外の就職活動の状況（今後申込予定を含む。）
- 注 最終学校が高等学校の方は、⑥⑦欄の入力は不要です。

〈参 考〉「青森県職員育成・確保方針」（令和7年4月策定）で示している「めざす職員像」は次のとおりです。

めざす職員像 = 次の6つの価値観を大切に行動する職員

◆ 青森県職員としての基本的価値観・行動

あおもり愛 青森に対する愛着や誇りを抱きながら、その価値や可能性を大切にします。

◆ 組織メンバーとしての価値観・行動

成長 自らとチームの更なる成長に向けて学び続け、磨き合います。

支え合い 傾聴と共感を大切にしたコミュニケーションを行い、支え合います。

◆ 業務遂行に当たっての価値観・行動

県民目線 県民と同じ目線に立ち、信頼を得て、県民とともに青森の未来を描きます。

対話 対話を重ね、多様な価値観や意見を認め合い、変革につなげます。

挑戦 先入観や前例にとらわれず、変化を機敏に捉え、多彩な試みに挑み続けます。